診療科・対象疾患	呼吸器・乳腺外科・乳癌
プロトコール名	Weekly PAC＋パージェタ＋HER(2回目以降)21d
1コース日数	21日
催吐リスク分類	軽度

薬剤名	投与量	day1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21							
パージェタ注	420mg/body	●																											
トラスツズマブ注	6mg/kg	●																											
パクリタキセル注	80mg/㎡	●							●							●													

治療スケジュール

処方

レスタミン錠(10)　　5錠　1日1回　朝(day1、8、15)

※ 投与の際はドリップアイを使用

※ パージェタ注は前回投与から6週間以上のときには改めて初回投与量で行う

※ トラスツズマブ注は投与予定日より1週間を超えて投与する際は改めて初回投与量で行う

※ トラスツズマブ注の溶解液量は60mgが3.0mL、150mgが7.2mL

Day1

生食 100mL
(ルート確保用)
→
生食 250mL
パージェタ注
420mg/body
→ 30分※
生食 50mL
→ 15分
生食 250mL
トラスツズマブ注
6mg/kg
→ 30分※
レスタミン(10) 5錠
グラニセトロン点滴
3mg
デキサート注 6.6mg
ファモチジン注20mg
→ 15分

フィルター付ルート使用

※2回目以降、30分に変更可能

※2回目以降、30分に変更可能

5%糖液 250mL
パクリタキセル注
80mg/㎡
→ 1時間 → 終了

Day8、15

生食 100mL
(ルート確保用)
→
レスタミン(10) 5錠
グラニセトロン点滴
3mg
デキサート注 6.6mg
ファモチジン注20mg
→ 15分
5%糖液 250mL
パクリタキセル注
80mg/㎡
→ 1時間 → 終了

フィルター付ルート使用